

## 第6章 取組の評価指標と目標値

取組の評価する指標と、ビジョンの対象期間における最終目標は、次のとおりとします。

### 重点項目①住み慣れた地域・自宅で受けられる『医療と介護』

評価指標	策定時 (2016年度)	中間評価時	目標
			2025年度
訪問看護事業所数	2か所	5か所	5か所
在宅療養支援診療所数	5か所	7か所	9か所
在宅での看取りの数（医師会アンケートより）	47件	98件	140件
かかりつけ医を持つ人の割合 （介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	91.1%	90.3%	92%
かかりつけ歯科医を持つ人の割合 （介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	—	85.6%	92%
かかりつけ薬剤師を持つ人の割合 （介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	—	69.2%	80%
地域包括支援センター認知度 （介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：役割認知+名前認知）	63.5%	62.4%	75%

### 重点項目②誰もが自分の将来に関心を持って取り組む『健康づくりと介護予防』

評価指標	策定時 (2016年度)	中間評価時	目標
			2025年度
特定健康診査の受診率	40.6%	46.7%	増加
後期高齢者健康診査	43.3%	44.1%	増加
特定保健指導の終了率	11.0%	16.2%	増加
がん検診受診率（胃）	17.1%	21.5%	40%
がん検診受診率（肺）	32.1%	33.2%	50%

評価指標	策定時 (2016年度)	中間評価時	目標
			2025年度
がん検診受診率（大腸）	29.2%	28.2%	50%
がん検診受診率（乳）	11.4%	15.7%	30%
がん検診受診率（子宮）	8.5%	13.4%	30%
歯科検診の受診者数	57人	186人	増加
8020（ハチマル・ニマル）該当者数	85人	—	増加
要介護認定率	16.2%	16.5%	15.0%
65歳以上の者のうち、「認知症高齢者の日常生活自立度」がⅡa以上と判断される者の割合	7.7%	9.9%	7.4%
個別支援の連携割合	—	—	100%

### 重点項目③身体 の 状況やライフステージに応じた暮らしやすい『住まい』

評価指標	策定時 (2016年度)	中間評価時	目標
			2025年度
入所・入院したい理由として「住居が介護に適していない」の割合 (在宅介護実態調査)	13.4%	11.2%	10%

### 重点項目④孤立しないさせない 地域で取り組む『生活支援』

評価指標	策定時 (2016年度)	中間評価時	目標
			2025年度
通いの場等の開催箇所数	—	—	64会場
「住みよさ」の満足度 (介護予防・日常生活ニーズ調査:「とても満足」と「満足」の合計)	44.0%	40.3%	60%
家族・友人・知人以外に相談相手がない人の割合(介護予防・日常生活ニーズ調査)	45.9%	45.1%	30%

評価指標	策定時 (2016年度)	中間評価時	目標
			2025年度
ボランティア活動等に参加している市民の割合（総合計画に係る市民意識調査）	19.7% (2014年度)	21.2%	35%
コミュニティ推進協議会の活動に参加したことのある人の割合（総合計画に係る市民意識調査）	9.7% (2014年度)	8.2%	30%
見守り協定締結数	—	—	46

重点項目⑤『共生』：～誰もが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らすために～

評価指標	策定時 (2016年度)	中間評価時	目標
			2025年度
ヘルプマーク配布数	—	—	1,725個
認知症サポーター養成講座受講者数	—	—	820人
つしまオレンジサポーターの会員登録者数	—	—	215人

重点項目⑥市民が主体となり地域全体で考えるための仕組みづくり

評価指標	策定時 (2016年度)	中間評価時	目標
			2025年度
地域に出向いて実施した市民との懇談会、意見交換会等の開催回数	15回 (地区懇談会)	8回	増加

その他

評価指標	策定時 (2016年度)	中間評価時	目標
			2025年度
できる限り自宅に住みながら介護サービスを利用したい人の割合（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	43.1%	39.3%	55%